



淀川水系河川整備計画の策定に向けて

余野川ダム計画に関して

みなさんの ご意見

猪名川の未来に向けて、ご意見の募集は引き続き行っております。
一人ひとりの、一つひとつの、みなさんのご意見が、
猪名川の将来を変えていきます。
ご意見、ご感想をぜひお寄せください。

郵送から…



ご意見をお書き頂いたのち、表面に郵便番号、差出人住所、ご氏名をお書きの上、下記宛先までご郵送ください。

〒562-0004 大阪府箕面市牧落1-19-30
国土交通省 近畿地方整備局 猪名川総合開発工事事務所

ホームページ から…



ホームページからでもご意見を受け付けております。

「猪名川流域放送局」

<http://e-ina.net>

FAXから…



ご意見をお書き頂いたのち、郵便番号、差出人住所、ご氏名をお書きの上、下記宛先までご送信ください。

FAX.072-725-1089

■寄せられたご意見は、公表させていただく場合がございます。いただいた情報は、河川整備計画策定以外の目的に利用することはありません。
ご意見を公表する場合には、お名前、ご住所（居住地の市町名まで）、職業（団体名等も含む）も公表させていただきます。
お名前等公表に支障がある場合はその旨お書きください。



国土交通省 近畿地方整備局
猪名川総合開発工事事務所

みんなで考える「余野川ダム計画」 ともに意見を出し合い、話し合っ未来につなげよう。

意見交換会などを振り返って みなさんの声の一部を紹介します。

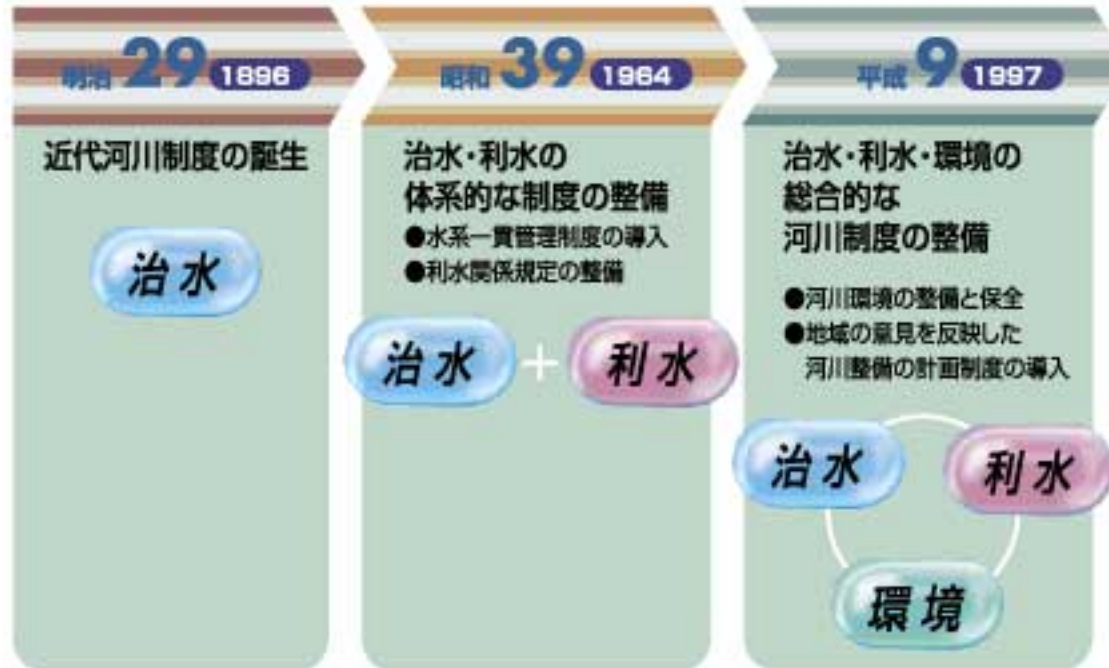
平成9年の河川法改正に伴い、これまでの「治水」「利水」に加えて、「河川環境の整備と保全」が法の目的に追加されました。また、従来の「工事実施基本計画」に代わって、長期的な河川整備の基本となるべき方針を示す「河川整備基本方針」と、今後20～30年間の具体的な河川整備の内容を示す「河川整備計画」が策定されることになり、「河川整備計画」については、住民のみなさんの意見を反映させ、学識経験者や自治体の意見を聴くことが定められました。

国土交通省近畿地方整備局では、淀川水系の「河川整備計画」を作成するに当たって、学識経験者からの意見を聴く場として、淀川水系流域委員会を設置。今後の淀川、猪名川など淀川水系の整備のあり方について検討を行っていただき、その意見や提言を参考に「淀川水系河川整備計画」の策定に向けた作業に取り組んでいます。その一つとして、余野川ダム計画の見直しのための調査・検討を行っております。

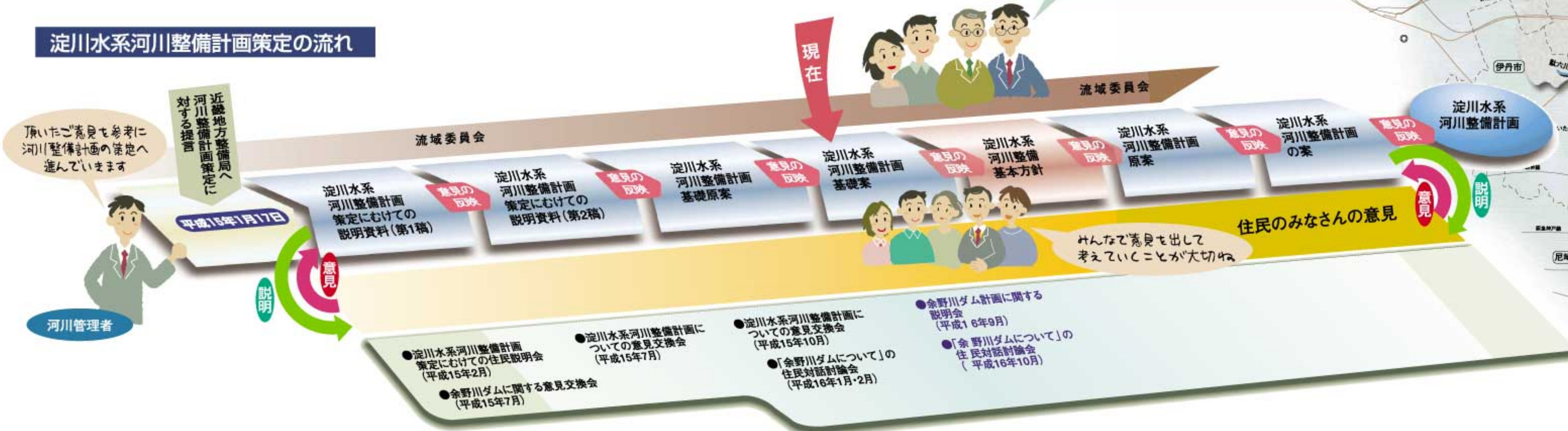
この冊子では、これまでに開催された意見交換会、住民対話討論会の会場で直接いただいたみなさんの意見、メールやFAX、郵送などで送られてきた意見の一部を紹介しています。

いただいたみなさんの意見は調査・検討に反映しています。

河川法の改正の流れ



淀川水系河川整備計画策定の流れ

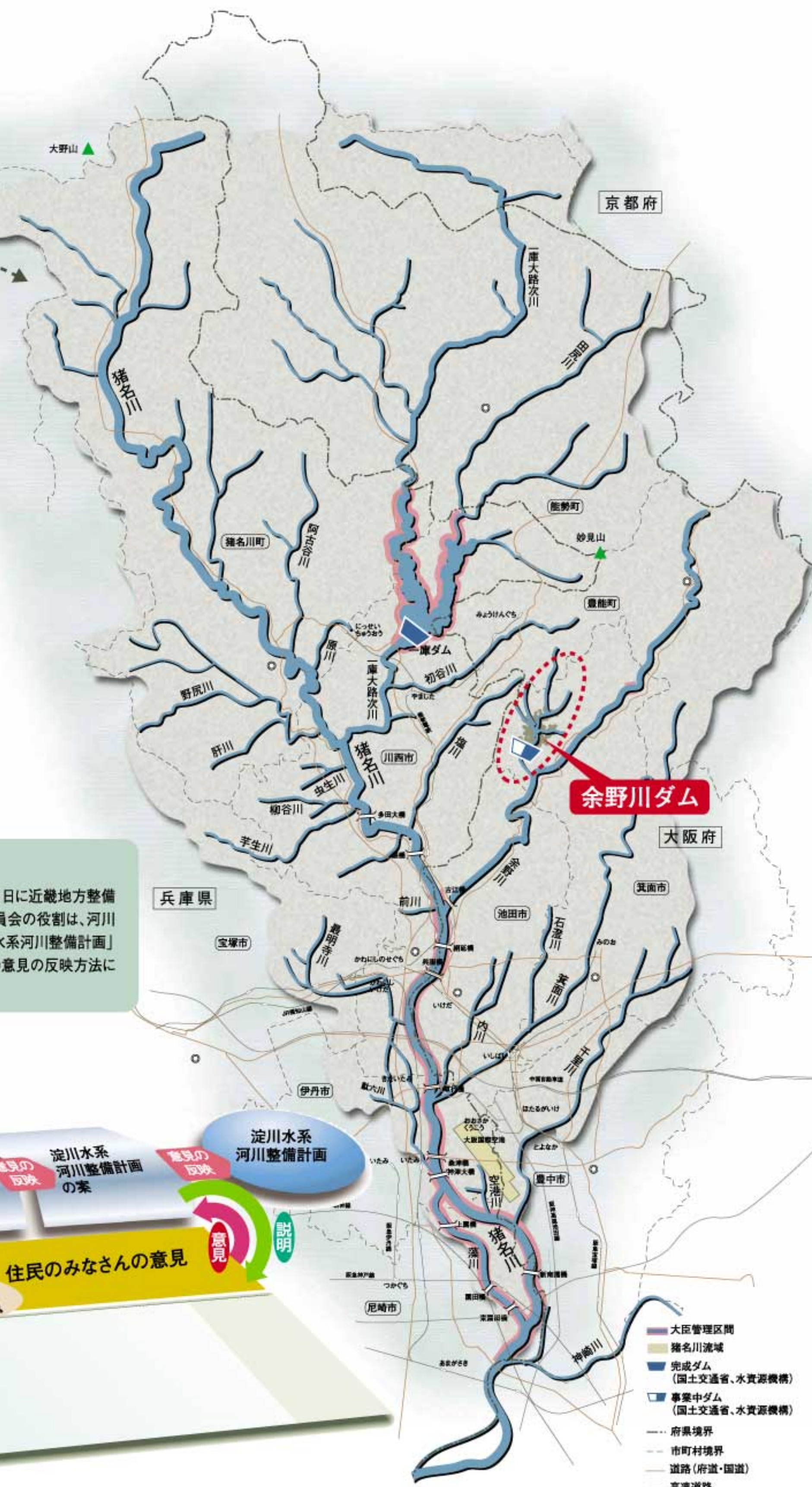


淀川水系流域図



「淀川水系流域委員会」とは

国土交通省の諮問機関として、平成13年2月1日に近畿地方整備局によって設置されました。淀川水系流域委員会の役割は、河川管理者(近畿地方整備局)が策定する「淀川水系河川整備計画」に対して、意見を述べること。また、関係住民の意見の反映方法についても意見を述べます。



余野川ダムに関する 意見交換会(第1稿)

狭窄部上流の浸水被害軽減策や、余野川ダムの調査検討について説明しました。

説明内容

淀川水系河川整備計画策定にむけての説明資料(第1稿)について、各項目及び余野川ダム計画見直し(案)の説明をしました。

開催日 平成15年2月22日

会場 池田市民文化会館

参加者数 57名



会場の様子(平成15年2月22日・川西文化会館)

開催日 平成15年2月23日

会場 尼崎商工会議所

参加者数 23名



会場の様子(平成15年2月23日・尼崎商工会議所)

開催日 平成15年7月5日

会場 川西文化会館

参加者数 80名



会場の様子(平成15年7月5日・川西文化会館)

いただいた意見総数: 188件



●余野川ダムの計画についての説明資料ダイジェスト版

●第1稿 概要版

意見 会場でのいただいた意見
FAX FAXで寄せられた意見
意見 ホームページ「淀川流域放送局」で寄せられた意見
意見 郵送で寄せられた意見

住民のみさんから、余野川ダム計画に寄せられた「治水」「利水」「環境」などに対する、いろいろな意見。



治水

ダムが見直しとなることは大切なことですが、見直し中でも、**水辺空間の活用**など周辺整備で、取り組み可能なものについては速やかに実施してほしいと思います。

この余野川ダムは、**何年の使用に耐えられますか?**

余野川ダムの建設に大反対します。理由は、一庫ダムに流れた土砂を浚渫すれば、ダムの倍以上の水を溜めることができ、**無駄な税金**を使わずに済むからです。

住民にとって**洪水は大いに困ります**。環境保全も必要だが、住民の安全な暮らしを第一に考えるべきです。生態系の破壊とよく言われるが、自然保護のみを優先すると、そこに住む人がいなくなることも考えられます。だから、早期対策として余野川ダムをぜひ完成させるべきです。

増水した時の余野川と猪名川を目の当たりにしてきたので、絶対に上流域に**ダムが必要**です。よりよい余野川ダムを建造して、中流域から下流域の余野川河川敷を夙川や武庫川のように整備していただきたいですね。



利水

ほとんど 浸水の話ばかりでしたが、**渇水**のことも考えてください。ダムがあっても断水はしますが、貯水がなければ、生活に本当に困るのですよ。



利水の必要量の議論が活発化し、環境保護の観点からダムの必要性が問われ、脱ダムに近い意見が聞かれるが、近未来に起こる可能性の高い地震時に、まず必要になるのは「水」で、**水をストック**しておくことは重要な使命です。単に水の使用量予測からだけで議論されるのは、少々偏りすぎた議論ではないですか。



環境

きょう初めて余野川ダムの建設を知りましたが、本当に必要なのでしょうか。ダムも**環境を破壊**します。防災のためなら、他の方法を検討してください。



浸水による被害額は出ているが、ダム建設による自然破壊の被害を換算すると、いくらかの**損失**になるのですか。自然環境は未来の子どもたちからの借りものです。大人の代で食いつぶさないでほしい。

アメリカでは、数年前からダムを壊して**森林に戻す**ような動きがあります。なぜ、そうしないのですか。



その他

流域委員会からの「**原則中止**」の提言を、なぜ「現段階では建設が有効」と判断されたのか、今日の説明では理解しにくいですね。

余野川ダムの**当初の建設目的**は何だったのですか。その合理的な理由があやしくなっていることを説明すべきではないのでしょうか。



不必要なダム建設や河川の護岸工事は、やめていただきたいです。余野川ダムは種々のデータから考えて、治水・利水面ともに、つくる必要のないダムです。

これ以上ダムを増やすと、**違った問題**が発生すると思われる。アメリカでは、数年前からダムを壊し、森林に戻すことが進められていますが、このことを見ても明らかだと思います。

説明の中で、余野川ダムの整備・検討と表現しているが、整備するという意味なのか、整備・建設そのものを検討するのか、**あいまいな表現**だと感じる。

寄せられたさまざまな意見を調査・検討に反映しています。

淀川水系河川整備計画についての意見交換会（第2稿）



余野川ダムについて、見直し、調査・検討を実施。狭窄部上流の浸水被害軽減を図ります。

説明内容

淀川水系河川整備計画策定にむけての説明資料（第2稿）について、各項目の説明をしました。

開催日	平成15年7月29日
会場	箕面市民会館（グリーンホール）
参加者数	27名
開催日	平成15年7月31日
会場	尼崎商工会議所
参加者数	14名

開催日	平成15年7月30日
会場	池田市民文化会館
参加者数	15名
いただいた意見総数	30件



会場の様子（川西文化会館）



●第2稿ダイジェスト版

淀川水系河川整備計画についての意見交換会（基礎原案）



環境調査や自然・社会環境に及ぼす影響と軽減策を検討。余野川ダムについて、みなさんと一緒に、さらに考えていきます。

説明内容

淀川水系河川整備計画基礎原案について、各項目の説明をしました。

開催日	平成15年10月18日
会場	川西文化会館
参加者数	24名

開催日	平成15年10月25日
会場	伊丹市生涯学習センター
参加者数	16名

いただいた意見総数： 20件



会場の様子（川西文化会館）



●基礎原案ダイジェスト版

意見 会場での意見
FAX FAXで寄せられた意見
意見 ホームページ「淀川流域放送局」で寄せられた意見
意見 郵送で寄せられた意見

治水

住民のみならず、余野川ダム計画に寄せられた「治水」「利水」「環境」などに対する、いろいろな意見。

私は余野川ダム計画の地域に住んでいるものですが、その治水効果に大いに期待しています。今まで梅雨の長雨や台風時の大雨のたびに、余野川を流れる水量、大きな石の音に脅かされ、夜も眠ることができないほどだったからです。ですから、早くダムをつくってほしいですね。

治水

森林の保水機能は有効でないと言っているのが、その理由は何ですか。

ダムを建設する事よりも、銀橋狭窄部の開削が先である。開削してもなお下流に被害があるのなら、その対策に要する環境・コスト等と、余野川ダム建設に要する環境・コスト等の比較がされるべきだ。

ダムは代替案は、どのようなものを検討されたのでしょうか。

余野川ダムは広範囲にわたって影響のあることなので、もっと広く検討すべきだと思います。建設現場を何回も見学して、そう感じました。

地元としては、ダム建設に対してそれなりの決意を持って事業実施を決断し、協力もしてきたわけですから、一刻も早い余野川ダム事業の完成を願っています。

治水

一庫ダムの利水容量の振り替え先に、余野川ダム、府営水道、地下水とありましたが、もう少し詳しく説明をお願いします。夏の時点で余野川ダムの説明と変わった点はあるのでしょうか。

治水

余野川ダムには洪水初期の落ち葉や落ち枝が大量に入って、水質悪化がひどくなるのではないのでしょうか。

治水

一庫ダムの利水を余野川ダムに振り替えるとのことですが、余野川ダムでなければいけない理由は何ですか。府営水や地下水への振り替えが検討された結果、余野川ダムなのですか。

治水

利水が第一目的のダムは、低成長が続く日本に必要なものと考えます。この財政危機の中、不要な公共事業は絶対に許されるものではないからです。

利水

環境

その他

その他

環境

その他

その他

その他

その他

寄せられたさまざまな意見を調査・検討に反映しています。

社会的合意の形成に向け、住民同士の対話討論会開催

テーマ▶ 余野川ダムについて

住民対話討論会



「余野川ダム」の必要性や問題点、期待される効果などについて、発言者がそれぞれ意見を述べました。

住民対話討論会とは

猪名川流域の余野川ダムに関して、いろいろな意見をお持ちの方が一同に会してお互いに率直な意見を交換しあう場です。この住民対話討論会は、豊富な経験と専門的ノウハウを兼ね備えた第三者（ファシリテーター）が司会進行を行います。また、応募いただいた意見書をもとに発言者を選びました。

司会・進行役
（ファシリテーター） 澤井 健二（さわい けんじ）

（摂南大学 工学部都市環境システム工学科 教授）
Eポートという組み立て式10人乗り手漕ぎカヌーを用いて、近畿の各地で親水活動の普及を図るとともに、市民と行政の協働による水辺環境の再生・創出に取り組む。キャッチフレーズは、「活かそう水辺、つなごう流れ」。
平成16年1月25日、2月14日開催の余野川ダムについての住民対話討論会のファシリテーターを務める。



第1回

開催日 平成16年1月25日

会場 箕面文化センター

参加者数 発言者8名、一般傍聴者117名



会場の様子

いただいた意見総数： 52件

第2回

開催日 平成16年2月14日

会場 箕面文化センター

参加者数 発言者8名、一般傍聴者101名



会場の様子

いただいた意見総数： 16件

1回目の討論会で議論が白熱したため、同じテーマで2回目の対話討論会が開かれました。



●折り込みチラシ



●折り込みチラシ



余野川ダムがなぜ必要か。突然の鉄砲水によって余野川が増水し、激流の恐ろしさを体験したことから、ダムの必要性を感じたのです。これで強い台風にでもかき回されていたら、きっと氾濫していたと思います。

ダムを建設して、河川が増水して起きるだろう氾濫や、もしもの浸水被害を食い止め、予防する**流量調節**が必要だと考えられます。

また、ダムの建設は、生活や産業に必要で便利な道路建設につながります。余野川沿いの狭くて、曲がりくねった道路を、すっきりとした走りやすい道路にすることによって、事故も軽減されるでしょう。ダム建設にも、きっと生物たちとは共存できるはずです。



止々呂美地域は府管轄で、ダムができる部分と分派堰がつくられる一部が国土交通省の管轄です。これで本当に総合治水というのができるのかと思います。

「水と緑の健康都市」とダムを合わせて400ha近く開発がされているというこの地域で、本当に質素の環境のいいところ、特に生態系の大切さが言われる時代にあって、こういうところを開発しているのでしょうか。

でも、**貴重な自然**を壊してまでも、治水・利水にとって本当に必要だということが提示されれば、私はダムを認めないわけではありません。しかし、生態系の豊かさを説明できるほどの、治水・利水についての説得がないのです。私は、総合治水を進めていけば、余野川ダムはいらないんじゃないかと思っております。



私は、建設の必要が薄くなった余野川ダムの建設は中止したほうがいいと思っています。利水は仮に一庫ダムの治水容量を振り替えるとしても、余野川ダムでは利水を確保する必要はなくなっています。

治水に関しても、猪名川の下流域で洪水被害の軽減に役立つということですが、余野川ダムによる集水域で集められる水量は全体の数%なので、有効性が非常に疑問です。

現在、日本経済は破綻寸前です。このような経済情勢下で、**莫大な費用**を必要とする余野川ダムの建設は、やめていただきたい。

もう一点、この対話討論会を単なるイベント的なもの、形式的なものに終わらせるのではなく、「住民参加」という考え方に応えられるような討論会であればならないと思います。



社会福祉人口問題研究所の指摘によると、平成40～50年には、75歳以上の方が2,000万人くらいになるんじゃないかと推測されています。猪名川流域にお住まいの方々が将来、そういう時代を迎えた時、東海豪雨のような予期しない大洪水が発生し、河川が氾濫したら、一体どういう自体になるのか。高知県の土佐山田町で、高齢者の方が悲惨な水難死をされたという洪水がありました。私は、数十年先には、そういう事態が起きるのではないかと今から心配しています。

ですから、**高齢化社会**への対応を的確にできる方策が必要です。そのために今、猪名川で最も有効な手段として、近畿地方整備局でお考えの案がベストであると考えています。整備計画をまとめられるに当たっては、40～50年先の社会情勢を踏まえてお願いしたいのです。



住民対話討論会での
発言者の意見



私は子どもの頃から余野川の恵みとともに生活してきました。その反面、河川の氾濫の恐怖とも背中合わせに生きてきました。

しかし、コンクリートで固められた川になることを望んでいるわけではないのです。自然の河原があって、誰もが下りていける現状の姿に強い愛着をもっています。余野川ダムは、まさにわれわれの**悩みを解決**するものです。

ところが、最もダムの影響を受けるわれわれの意見でなく、河川の氾濫に関係のない人たちの考えでダム建設が左右されようとしています。水が余っていることと治水による安全、安心のためにダムが必要なのは別の問題です。

一刻も早くダムを完成させていただきたいと願う次第です。



私の地元、「止々呂美地域まちづくり協議会」が組織され、まちづくりをどうするか、1年かかって討論し、基本構想ができあがりました。

地元はダム開発ありきで、**将来のビジョン**を描いています。そのために、土地を、財産を犠牲にしているのです。待たなままできていることを肝に銘じてほしいと思います。止々呂美では、昭和42年の大水害により、尊い2人の命を失った経験があります。このようなことも考慮せず、机上のもとにダム中止を原則とすることは、地元としてはけしからんことだと怒っています。速やかに着工していただくことを強く要望します。



ダムをつくる場合、ダムの**マイナス面**をいかに緩和するかという説明がありました。巨額な費用を要するという、一番大事なことが抜けています。

国民総生産の2年分を超えそうな借金がある中で、大型公共事業の代表であるダムをつくるのか。もちろん、ダム以外に治水の方法がないのなら、私も大賛成でダムをつくりたい。その辺を細かく見ていただきたいのです。

まず、利水はもう必要ありません。問題は治水ですね。ダムが治水に対して非常に有効なのは間違いありませんが、数百億円という費用がかかります。果たして、他に方法がないかということなのです。

ダムに反対する人、賛成する人、さまざまですが、いろんな要因がありますので、続けて話し合っていきたいと思っています。



緑と森林ダムで自然環境の保全を最優先する。環境の21世紀に美しい日本をつくっていくために、河川改修や森林の保全のために余野川の治水対策を進める。国土交通省はその支援対策に予算を拡大すべきではないかと思っています。

保水機能や遊水機能、あるいは貯留や浸透の機能を大切に、雨水、貯留、浸透、利用などで流出係数を抑制すれば、猪名川や余野川の治水レベルを必ず向上させることができると、私は確信しています。これらは下流部の浸水被害の軽減にも役立つものであり、こうした**総合治水対策**の推進こそ必要ではないかと思っています。

ダム計画の治水目的の代替案によって、住民参加で止々呂美地域の再生を図ることが、いま求められているのです。これらの事業を進めれば、必ず雇用は拡大するでしょう。治水、利水、環境面を考慮しながら、十分に議論を重ね、一日も早く、誰もが納得できる建設的な計画ができ上がることを望んでいます。



住民のみさんから、余野川ダム計画に寄せられた「治水」「利水」「環境」などに対する、いろいろな意見。



意見 ダムは**不要**です。それより、多田地区の狭窄部開削、堤防強化、余野川周辺の整備、止々呂美地区の道路建設を急ぐことだと思います。

意見 多田地区の狭窄部ばかりが問題とされるが、99年の大雨時には**余野川が増水**し、国道に川の水があふれ、家までもう少して水に浸かるほどでした。ダムに反対される方々は、止々呂美や余野川の近くに住まれた上で意見を述べていただきたいと思います。

国土交通省は、「洪水被害に遭う可能性のある地域住民」と「そうした地域に居住せず、直接の利害関係も有しない住民団体のメンバー」を明確に区分し、前者の側にたつてその**財産と生命**を守ることを最優先してください。そのために必要なダムは着実に整備を進めていただくようお願いします。



意見 どのような方法であれ、河川の氾濫、濁水を防いでほしい。安心できるなら、また真に必要ななら、ダム建設に賛成します。しかし、自然を破壊しては必ず**天の裁き**が下ると信じているので、その点のアセスメントについては重々をお願いしたいと思います。

意見 多田の浸水被害は余野川ダムだけで絶対防げず、銀橋狭窄部の開削が、多田大橋からのバイパストンネルの検討をお願いします。無堤防区間が放置されているなんて**言語道断**。まず第一に取り組んでください。

FAX 余野川ダムの事業地域およびその周辺は「**里地里山地域**」であり、豊かな自然生態系であるにもかかわらず、基礎原案では環境保全の検討、内容が軽視されたものとなっています。その自然生態系に大きな負荷を与えるダム事業は中止すべきです。そして、環境負荷の小さい複数の施策を組み合わせ、総合治水を推進することを強く要請します。



意見 地球温暖化対策としても、水や緑化が必要ですので、ダムも必要です。洪水や浸水から身を守るためにも、堤防を強化し、安全対策を施した余野川ダムが**必要**だと思うのです。



FAX 取り付け道路までは出来上がりつつあるので、それ以上のダム建設関連の工事は中止し、早急に用地の利用方法を検討すべきです。一番妥当なのは、失われた自然を回復し、誰もが利用しやすい「**市民の森**」として再生が望まれます。

意見 銀橋狭窄部を段階的に開削すべしという意見を前回出したが、治水の面だけでなく、ダムが大規模な自然破壊につながるという面をもっと考えるべきでしょう。ダムができれば下流の水量が減り、水質悪化はもちろん、あゆなど魚類や蜆にも**重大な影響**があると思います。



その他

意見 専門的な数字を示されるより、余野川ダムに**賛成か反対**かを議論してほしい。

意見 治水・利水、そして環境問題が入ってきて、ダムをつくるのが簡単ではないことがよくわかります。ですから、現状に合った計画をもう一度練り直し、**折衷案**をもとにダムの施工をすればいいかと思っています。



意見 被害総額の議論は**無意味**。その根拠になる数字の算定が同一ではないためです。財政のことより、必要なものはつくらなければいけないし、不必要なものはつくる必要はないと思います。つくるに当たっては、節約は当然です。

意見 地元の方のご意見はもっともだと思いますが、ダムに頼らない方法を今こそしっかりと議論し、検討すべきですね。そのためには、今なぜ見直しが必要なのか、**納得**してもらえらるまで地元への説明をしっかりと行うべきです。

意見 余野川ダムに反対の方に聞いてほしい。中止するなら今の**土地**は、今後どのように利用するのがベターと考えているのでしょうか。



寄せられたさまざまな意見を調査・検討に反映しています。

住民対話討論会(円卓会議)を振り返って…

余野川ダムについての住民対話討論会(第1回・第2回)について、円卓会議を行った意義やファシリテーターの感想、今後の方向などを紹介します。

余野川ダムについての住民対話討論会 ファシリテーター 澤井健二氏

円卓会議を行った意義

- いろいろな意見を持った住民が直接に意見を述べ合う良い機会であった。
- 討論会の回数を当初は1回のみと設定したが、十分な議論が尽くせず、2回目を開催。意見の種類としては出尽くしたように思える。
- 意見発表者の意見がなるべくバラエティーに富むよう考慮し、選択されなかった意見投稿者についても簡単な紹介を行った。

ファシリテーターの感想

- 従来の計画通りのダムの可否だけでなく、ダム規模の縮小も案のひとつである。
- 地元活性化への流域挙げての支援。技術、経済、行政の英知の結集が必要である。
- もう少し、発言者の年齢構成が広がるような工夫がほしかった。
- 発言希望者を18人から8人に絞ったのは適切であった。

今後の方向

- 今後、住民の合意形成が必要だが、それにはさらに討論会を継続する必要がある。
- 発言者(場合によっては傍聴者も)と一緒に現地を視察することも有効である。
- 住民の意見を把握するため、住民全体へのアンケート調査の実施も有効である。
- 今後はさらにテーマを絞り込み、発言者の人選を行うなどの工夫も必要である。
- 今回は事務所や流域委員会はなるべく発言しない形で進められたが、今後はリアルタイムで応答してもらおうのがよいのではないかと。